

2022年6月吉日

第66回日本学生科学賞北海道審査開催要項

読売新聞北海道支社
総務部事業担当

■研究内容とフォーマット■

2022年1月以降のデータを含む作品に限ります。継続研究の場合、前年までの研究と、新しく研究した部分を明確に分けてご記入ください。

物理、化学、生物、地学、広領域（前記4分野以外のテーマや、複数分野にわたる研究）など理科の学習に基づく実験、研究、調査などの研究レポート。「情報・技術」「応用数学」は道審査を行わず、東京で一括審査する事前審査を行います。「日本学生科学賞」のホームページ（<https://event.yomiuri.co.jp/jssa/>）から直接お申し込みください。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、審査方法やスケジュールが変更になる場合があります。

〈主催〉 読売新聞社

〈共催〉 全日本科学教育振興委員会、科学技術振興機構

〈後援〉 内閣府、文部科学省、環境省、特許庁、北海道、北海道教育委員会

〈協賛〉 旭化成

【応募資格】 道内の中学校・高等学校在学学生。高等専門学校、定時制高校は3年生まで。

【募集内容】 個人、もしくは生徒が共同で行った実験・研究・調査などの作品。
学校の課題研究の発表も可。

■応募方法■

【物理、化学、生物、地学、広領域】

日本学生科学賞ホームページ（<https://event.yomiuri.co.jp/jssa/>）掲載の出品票（pdf版もしくはword版）をダウンロードし、必要事項を記載のうえ、作品に添付して下記送付先へ郵送でご提出下さい。その際必ず応募者控えを手元で保管しておいて下さい。

【受付期間】 2022年9月2日（金）～10月12日（水）必着

【送付先】 読売新聞北海道支社総務部「日本学生科学賞係」

〒060-8656 札幌市中央区北4西4 ※持参不可

【情報・技術、応用数学】

情報・技術と応用数学分野では地方審査を行わず、中央予備審査に進む作品を選定する事前審査を行います。日本学生科学賞ホームページ内の情報・技術分野応募フォームから登録を行って下さい。登録完了後、出品票を印刷し、作品に添付して日本学生科学賞事務局へ郵送でご提出下さい。その際必ず応募者控えを手元で保管しておいて下さい。

【受付期間】 2022年9月2日（金）～10月24日（月）必着

【送付先】 読売新聞東京本社次世代事業部日本学生科学賞事務局

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1

■応募時の注意事項■

- 1) 「高校生・高専生科学技術チャレンジ」(JSEC)は、日本学生科学賞とともに国際学生科学技術フェア(ISEF)と提携しているため、同じ研究作品を重複して応募することはできません。また、同じ学校から異なる作品を日本学生科学賞と JSEC に応募した場合、同じ研究者が含まれている場合は、二重応募とみなします。
 - 2) 中学の部では「自然科学観察コンクール」に同じ研究作品を重複して応募することはできません。
 - 3) 研究レポートを作成する際は、日本学生科学賞ホームページ掲載の「研究レポート規定」を参考にしてください。
 - 4) 標本(液浸標本等含む)、装置、模型などの実物提出は受け付けません。
 - 5) 中央審査及び道審査応募に伴う送料・責任は、応募者が負ってください。
 - 6) 応募作品は審査が終了しても返却しません。
- ※このほか、細部の規定はホームページに記載されていますので、必ずご確認ください。

■審査■

2022年10月下旬、北海道大学と北海道立教育研究所附属理科教育センターからの4人が審査します。審査の結果は、11～12月に読売新聞紙上で発表します。

■出賞と中央審査■

中学、高校(高専、定時制を含む)のそれぞれの部門に、下記の通り出賞します。
受賞研究は、中央審査に出品することができます(別途、登録などが必要です)。
北海道知事賞(最優秀賞) 1研究
北海道教育長賞(優秀賞) 1研究
読売新聞社賞 4研究まで

※各賞は該当研究なしの場合もあります。

※上位入賞研究には、11月中旬に読売新聞から指導教諭あてに取材のお願いをする予定です。
その場合、指導教諭と生徒の談話、写真を紙面に掲載します。
なお、全ての入賞研究には学校宛で賞状と記念品を送付します。

以上

<p>【問い合わせ先】 平日 10:00～17:00 読売新聞北海道支社総務部 川村圭一 TEL 011-242-5630 携帯:080-2376-7394 mail:kwmr3796@yomiuri.com</p>
--